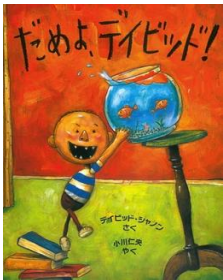




●先生のおすすめ絵本●



だめよ、デイビッド！

〈作〉デイビット・シャノン 〈訳〉小川 仁央 〈出版〉評論社

楽しいことが大好きな男の子(デイビット)！後先考えずにその場その場を楽しんでいるデイビットのお話ですが、壁にお絵かきしたり、泥んこのままお部屋に入ったり、食べ物で遊んだり…ダメなことばかり！！なので、いつもママから「だめよ、デイビット！」と叱られてしまいます。ひよこ組の子ども達は「そんなことしたらだめだよね～」と言いながらも、デイビットの大胆ないたずらに大笑いしながら見ていました。最後はあたたかくほっこりできる終わり方になっています。

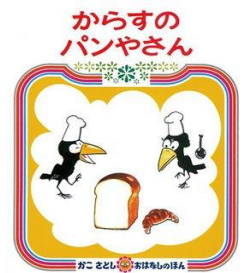
〈ひよこ組 S 先生〉

からすのパンやさん

〈作〉かこさとし 〈出版〉偕成社

年中さんで読むには少し長い物語かな…とはじめは思いましたが、夏季保育の映画会でこの作品を上映していたので、クラスでもビッグブックで読んでみることに。すると、「おもちゃなんだ！」とからすの子どもの名前を呼んでみたり、「えっさか ほっさか」「ころころ ぼてぼて」とパン作りの動きを皆で真似てみたりと、絵本の世界に入り込む子ども達！そしてなんといっても一番の魅力はユニークなパンがどっさり描かれている1ページ。「私は〇〇パンがいい！」と子ども達がそれぞれに好きなパンを選ぶのがまた楽しいようでした。

〈すみれ組 S 先生〉



おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん

〈作・絵〉長谷川 義史 〈出版〉BL出版

「ねえ おじいちゃん。おじいちゃんのお父さんはどんな人？」おじいちゃんは5歳のぼくにひいおじいちゃんの事を教えてください。そこから時代がどンドンさかのぼっていき…「ひいひいひい…おじいちゃんはどうなひと？」どンドン増えて繰り返されるフレーズにも組の子ども達は笑いながら興味津々で見っていました。「みんなは、だれのおじいちゃんになるのかな？」絵本の最後の言葉に「えー！ぼくも(わたしも)おじいちゃん(おばあちゃん)になるの?!」と驚いていた子ども達でした。ユーモアと温かさの中に、命のつながりを感じられる素敵な絵本です。

〈もも組 I 先生〉



夏休みの読み聞かせカードより

ノラネコぐんだん おすしやさん 〈作〉工藤 ノリコ 〈出版社〉白泉社



8匹のノラネコぐんだんは、ワンワンちゃんのお寿司屋さんをのぞいています。どうにかしてお寿司が食べたいノラネコぐんだんは試行錯誤。しかし、やることは悪いことばかり。案の定、失敗ばかり。そしてわんわんちゃんに怒られ、正座で反省させられるノラネコぐんだん。…と少し問題があるようなお話ですが、子どもはいたずら大好き。惹かれてしまうようで、とても楽しそうに聞いていました。ただ、短文でテンポも良く、優しいタッチで描かれたキャラクター達はとてもかわいらしいので、そこもまた引き込まれるところなのかなと感じました。絵も細かいところまでしっかりと描かれているので、見ていて楽しいですし、「ここにエビがいる！」「もぐってるよ！」など発見もあり、絵だけでも楽しめました。

〈こぼと組 Nさん〉

わんぱくだんのにんじゃごっこ 〈作〉ゆきのゆみこ 〈出版社〉ひさかたチャイルド

最近、忍者や戦隊ものにすごく興味を持っているので、この本もとても楽しそうに聞いていました。前に読んだ時には自分が好きなページまで待たずにめくってしまうこともあったのですが、最近はじっくりと聞けるようになってきました。折り紙で手裏剣や刀を作る場面を見ると、〇〇も作ると言って、一生懸命作ろうとしたり、ふろしきを使って覆面をしているのを見ると、自分でタオルを持ってきて、まいてみたりしていました。特に好きな場面は、手裏剣と刀で悪者と戦うところです。読み終わった後は、必ず忍者になりきった感じで、見えない敵と戦っているの、面白いです。私が悪者にさせられる時もあるって、そういう時は容赦なく刀をふりかざしてきます。ちょっとでも手を抜いて相手をすると「ママちゃんとやって!!」と言われるので、私も悪役ぶりが上手くなってしまいました。

〈つばめ組 Mさん〉



どろんこハリー 〈作〉ジーン・ジョン 〈出版社〉福音館書店

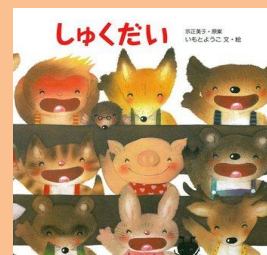


小さい頃に読んでいた本を〇〇にも読んでもらおうと取っておいた本の一つ。幼稚園でどろんこ遊びが大好きな〇〇はハリーがどろんこになっている姿を見て嬉しそうに「〇〇と一緒にだね！」と言っていました。幼稚園の後にはどろんこで帰ってくる〇〇もお風呂が気持ちよくなったハリーの気持ちがわかるような気がします。この絵本を読んで幼稚園のことを思い出していました。外で思いっきり遊んで、安心できるお家があることは子どもにとって重要なことと思います。ハリーのように〇〇にもそんな風に思ってもらいたいです。絵は四色だけで描かれていてお話だけでなく視覚からも引き込まれる一冊。一生懸命で愛らしく優しい気持ちになる素敵な本です。

〈ひよこ組 Hさん〉

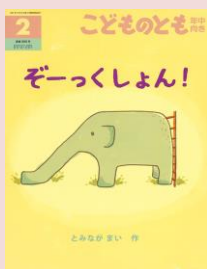
しゅくだい 〈作〉いもと ようこ 〈出版社〉岩崎書店

久しぶりにほんわか、ほっこりする絵本に出会えました。夏休みらしい題名の本だったので、私もどんな内容「しゅくだい」なのか興味があったので、つい手にとってしまった一冊です。「めえこせんせい」が出したしゅくだいは、「だっこ」です。おうちの人にだっこしてもらおう、というのがテーマです。みんな、「えー、うそー、やだー、はずかしい」と大騒ぎ。もぐらのもぐくんもその一人。…ですが、おうちには生まれたての赤ちゃんのお世話で、ママは大忙し。自分の事をかまってもらえません。ようやく伝えることができ、ママ、パパ、おばあちゃんみんなに「だっこ」してもらえた時、もぐらは赤ちゃんだった頃を思い出しました。と同時に私もその頃を思い出しい息子をだっこしてしまいました。涙が出て一日一回ぎゅーしてあげようと思いました。初心に帰る一冊です。



〈すみれ組 Oさん〉

ぞーっくしょん！ 〈作者〉とみなが まい〈出版社〉福音館書店



大好きなお話で、何度も何度も読んでいます。ぞうがぞうさんすべりだいになるお話ですが、よく行く公園にもぞうさんすべりだいがあるので、親近感がわくようです。ある日、読んでいると「ちょっと静かに読んで！」と言うので不思議に思っていると、よく見るとそのページの隅にぞうの子どもが寝ていたのです。ぞうの子を起こさないようにと気にしているようで、大人が気が付かないところまで、注意をむけて聞いているんだなーと感心しています。

〈たんぱば組 Tさん〉

りんごりらっば 〈作〉あべ けんじ 〈出版社〉福音館書店

幼稚園で6月号として頂いた絵本です。「絵本どれ読む？」と声をかけると、にこにこ本棚から持ってきました。ページをめくる度に語尾につながる名前の物が増えていき、単純ながらも言葉遊びができ、楽しそうに指を指しながら何度も口に出しながら言っていました。読み終えた後にも、「いすいかれーぱんまん(いす、スイカ、カレーパンマン)」など家の中にあるもので、自分で見つけ出して楽しんでいました。



〈ひまわり組 Kさん〉

※紙面で紹介している絵本の表紙画像の掲載には、出版社の許諾をいただいております。

編集後記



セミの声もいつのまにか聞こえなくなり、日中は秋の風が心地良く、子どもたちが外で遊ぶには最高の季節になりましたね。幼稚園にいくと、秋晴れの中で子ども達が走り回っていて、その様子を見るたびに元気をもらいます！子どもが園から帰ってくると、幼稚園で習ったリズム、手遊びやリレーの話などを得意気に話す表情が見えてとてもうれしくなりますね。「ママ、ファイト！」と背中を押してもらっている気になります！これから、わくわく楽しい行事が待っていますね♪朝晩の肌寒さに気を付けながら、子ども達に負けず元気に過ごしていきましょう！

〈さくら組 M〉

